

令和3年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(環境省R3—8)

別紙1

施策名	目標3-2 大気生活環境の保全				担当部局名		水・大気環境局 大気生活環境室		環境管理技術室		自動車環境対策課		作成責任者名 (※記入は任意)		長坂雄一(大気生活環境室長) 鈴木延昌(環境管理技術室長) 飯田博文(自動車環境対策課長)	
							3. 大気・水・土壌環境等の保全									
施策の概要	騒音・振動・悪臭の防止対策やヒートアイランド対策による大気生活環境の保全						政策体系上の位置付け		3. 大気・水・土壌環境等の保全							
達成すべき目標	騒音・振動・悪臭の発生防止や、ヒートアイランド問題の改善により、良好な大気生活環境を保全する。						目標設定の考え方・根拠		環境基本法第16条に定める環境基準		政策評価実施予定時期		令和4年8月			
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値							測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠				
	基準年度	目標年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度							
1 騒音に係る環境基準達成状況(%)	-	-	100	-	100	100	-	-	-	-	-	-	環境基本法第16条に基づく環境基準は、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められたものであり、その達成率は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の騒音の状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。			
2 自動車騒音に係る環境基準達成状況(道路に面する地域)(達成割合(%)/ (評価対象:千戸)	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	環境基本法第16条に基づく環境基準は、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められたものであり、その達成率は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の自動車騒音状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。			
3 航空機騒音に係る環境基準達成状況(測定地点ベース)(%)	-	-	100	-	-	100	-	-	-	-	-	-	環境基本法第16条に基づく環境基準は、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められたものであり、その達成率は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の航空機騒音状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。			
4 新幹線鉄道騒音に係る環境基準達成状況(測定地点ベース)(%)	-	-	100	-	-	100	-	-	-	-	-	-	環境基本法第16条に基づく環境基準は、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められたものであり、その達成率は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の新幹線騒音状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。			
5 振動に係る全国の苦情件数(件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	振動に係る全国の苦情件数は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の振動の状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。			
6 悪臭に係る全国の苦情件数(件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	悪臭に係る全国の苦情件数は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の悪臭の状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。			
7 熱中症予防サイトの閲覧数(アクセス件数:万件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱中症予防サイトの閲覧数は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の熱中症予防の状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。			
8 暑さ指数(WBGT)の認知度(Webアンケートベース)(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	暑さ指数(WBGT)は熱中症の救急搬送人員数と高い相関が示されており、その認知度は、人の健康の保護と生活環境の保全を図るうえで、全国の熱中症予防の状況の度合いを把握するものとしての的確であるため、測定指標として選定した。熱中症警戒アラートが全国運用になることに伴い、同アラートの発表基準である暑さ指数(WBGT)認知度への影響が見込まれることや、サイトのアクセス数は酷暑により大きく増減することから令和3年度より測定指標として選定した。			
9 暑熱環境測定結果提供機関数(施設)	24	H29年度	27	R3年度	-	-	-	27	-	-	-	-	主要競技会場周辺等での測定結果は、人の健康の保護と生活環境の保全に活用される。測定結果をどれだけ機能に提供するかで、どれだけ測定結果が活用されるかわかるため、測定指標として選定した。			

達成手段 (開始年度)	予算額計(執行額) (百万円)			当初予算額 (百万円)	関連する 指標	達成手段の概要等	行政事業レビュー 事業番号
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			
騒音・振動・悪臭等公害防 (1) 止強化対策費 (昭和63年度)	43 (43)	44 (42)	47 (41)	44	1,5,6	<p><達成手段の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度における騒音・振動・悪臭に係る法施行データ等を集計・分析し、施行状況調査の結果や環境影響評価を行う上での基礎情報等として、報道発表や報告書の公表等により情報を発信。 ・鉄道騒音・風力発電施設等から発生する騒音に関する知見の収集・測定評価方法の整理及び、騒音・低周波音に関する知見の地方公共団体職員等への周知。 ・地方公共団体等がより適切な悪臭対策を進めるための事例集、マニュアル等の作成。また、「悪臭物質測定マニュアル」の更新すべき事項の整理や更新案の作成、最新の状況を把握するための知見の収集。 <p><達成手段の目標(令和3年度)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音・振動・悪臭の法施行状況について、国民や地方公共団体職員の知識や関心を深める。 ・鉄道騒音について、評価手法の見直しに向けて、調査、検討を行う。 ・低周波音に関する知識・測定評価方法について、地方公共団体職員等を対象とした説明会を実施する。 ・近年対応に苦慮している飲食店の悪臭苦情について、最新の情報を飲食店・食料品店の事業者等へ情報提供し、悪臭防止に係る技術・ノウハウの普及により悪臭苦情件数の低減に寄与する。 <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音・振動・悪臭に係る法施行データの基礎資料の整備・公表を通じ、国民の関心を深めるとともに、地方公共団体の進める騒音・振動・悪臭防止施策の策定・推進に寄与する。 ・騒音の評価手法を整備し、適切に評価するためのマニュアル等を整備するとともに地方公共団体等に知見を周知することにより、より効果的かつ現実的な騒音等対策が実施され、地域の音環境の改善に寄与する。 ・事例集の作成や測定方法・算出方法等の更新は、かねてより地方公共団体から要望のあったところであり、見直しを行うことによって、悪臭防止に係る技術・ノウハウが普及され、悪臭の程度(濃度・指数)の低減、悪臭被害の長期化が防止され、悪臭苦情件数の低減に寄与する。 	0124
クールシティ推進事業 (2) (平成18年度)	38 (38)	57 (57)	57 (58)	50	2	<p><達成手段の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市における暑熱対策について実施方法の明確化、普及啓発。 ・インターネットを活用した熱中症に関する予防情報の提供。 ・暑さ指数(WBGT)の認知度向上及び行動変容に繋がる情報発信のあり方の検討。 <p><達成手段の目標(令和3年度)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑熱対策を導入すべき地点や導入後の効果の検証手法等をまとめたものを用いて、暑熱対策の普及啓発をする。 ・全国840地点(気象庁アメダスデータ)において算出した暑さ指数(WBGT)の予測値・実況値や、実際の生活の場を考慮して算出した暑さ指数(WBGT)参考値及び熱中症による救急搬送者数等の情報をインターネットを通じて提供する。また、気象庁と連携し、熱中症警戒アラートを運用することで、熱中症の危険性が極めて高い場合に、国民に「気づき」を与え、熱中症予防行動を促す。 ・暑さ指数(WBGT)の認知度を測定指標とし、情報発信方法の見直し、報道との連携等によりさらなる認知度の向上を図る。 <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防情報サイトでの情報提供により、気候変動やヒートアイランド現象による熱中症の増加等、人の健康への影響等を軽減する暑熱対策(適応策)の普及に寄与する。 	0125
交通騒音振動対策調査検 討費 (平成13年度)	44 (42)	43 (42)	43 (37)	44	2,3,4	<p>行政事業レビューURL: http://www.env.go.jp/guide/budget/review/2021/sheets/r02/xls/126.xlsx</p>	0126
自動車排出ガス・騒音規制 強化等の推進 (平成12年度) 【関連R3-⑧】	-	-	-	-	1,2,3	<p>行政事業レビューURL: http://www.env.go.jp/guide/budget/review/2021/sheets/r02/xls/119.xlsx</p>	0119
オリンピック・パラリンピック (5) 暑熱環境測定事業 (平成29年度)	30 (30)	37 (38)	39 (38)	39	8	<p><達成手段の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020東京オリンピック・パラリンピックの主要競技会場周辺等における暑熱環境の調査、大会開催期間の熱中症予防情報提供手法の検討 <p><達成手段の目標(令和3年度)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定した主要競技会場周辺等において、暑熱環境の調査及び、大会開催期間の熱中症予防情報提供を行う。 <p><施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果をオリパラ大会の関係各機関において活用することによって、熱中症予防を促進し、人の健康の保護と環境の保全に寄与する。 	0127
施策の予算額・執行額	154 (149)	182 (178)	186 (176)	170	施策に関係する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	○第五次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定) ○気候変動適応計画(平成30年11月27日閣議決定)	